

ラスベガス旅行記 2023

巨大ドームスフィア七変化

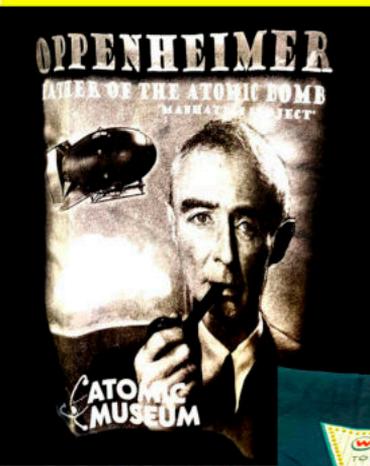
MAGIC CON 三昧

SelfieMuseum

2023/09/20~27

Roman
PEPPERONI
BACON

本当に楽しかったけど、疲れちゃって、もう歩けなくてエ…



目次

この本について	2	ストリップをぶらぶら	24
USドルのレート	2	自撮り博物館 (Selfie Museum)	24
今年も行きますラスベガス	3	原爆博物館	25
宿の確定	6	スマホ充電問題 (再燃)	26
Black Lotus VIP	6	LVCC会場で前日受付	27
PART1 ラスベガス入り		QJとの夕食	29
2023年9月20日 (水) 成田空港へ	8	タブレットが…ない?	30
ACアダプターを…落とした?	9	PART3 MagicCon 1日目	
搭乗	9	2023年9月22日 (金) MagicConの朝	34
2023年9月20日 (水) 二度目の水曜日	10	朝食パフェイ	34
サンフランシスコ国際空港	11	Limited Open 待機	35
ラスベガスに到着	12	Limited Open	36
ACアダプタがあった!	13	Black Lotus VIP ラウンジ	37
マルディグラにチェックイン	13	Festival in a Box: Las Vegas 2023	38
The Sphere (ザ・スフィア)	14	タブレット回収チャレンジ (失敗)	38
初日終了	15	PART4 MagicCon 2日目	
PART2 ラスベガス観光開始		2023年9月23日 (土) QJにタブレットの相談	42
2023年9月21日 (木) 充電不足	21	朝食と洗濯	43
モバイルバッテリーを購入	22	Draft your draft - Chaos Draft	43
T-Mobileストア	23	ドクター・フーのコラボ・キャンペーン	45
Popeyes (レイジアナ・チキン)	23	ラウンジで軽食	46
スマホ充電問題の解決 (?)	23	物販やらをうろうろ	48

Omniscience Draft (全知ドラフト)	49	下戸用のビールジョッキ	70
タブレット回収の見込み	51	ファッション・ショー	71
Slumber Party (パジャマパーティー)	51	コカ・コーラ・ストア (再訪)	73
MagicCon2 日目の終了	52	ピザのSBARRO	74
		ハーシーズ・チョコレート・ワールド	75
		ピンクチラシの終焉	76
PART5 MagicCon 最終日		OYO カジノホテル	76
2023年9月24日(日) 本日の予定	54	カジノで勝つ (+10ドル)	77
ラウンジでひとつまみ	54	荷物を回収して空港へ	78
タブレットが戻った!	55	発券終了	79
プライズ交換	56		
ジンジャーのラインダンス	57		
The Black Lotus Event プロGRESSシールド	58	PART7 帰国	
最終プライズ交換	60	2023年9月25日(月) 深夜のラスベガス空港	81
MagicCon: Las Vegas 終了	61	2023年9月26日(火) さらばラスベガス	82
夕食のステーキ	61	チェックイン	82
観光最後の夜	61	ゲート前の朝食	83
おさらい: Black Lotus VIPのお値打ち	62	カジノのやりおさめ	83
		デンバー空港	84
		2023年9月27日(水) 帰国日	85
PART6 観光最終日		機内映画	85
2023年9月25日(月) 体調チェック	67	帰国	86
朝食のブリトー	67	ACアダプタを回収して帰宅	87
荷造りとチェックアウト	68		
モノレールで Bonanza へ	69		
Bonanza でお買い物	70	あとがきにかえて: 今回の費用総額	88

この本について

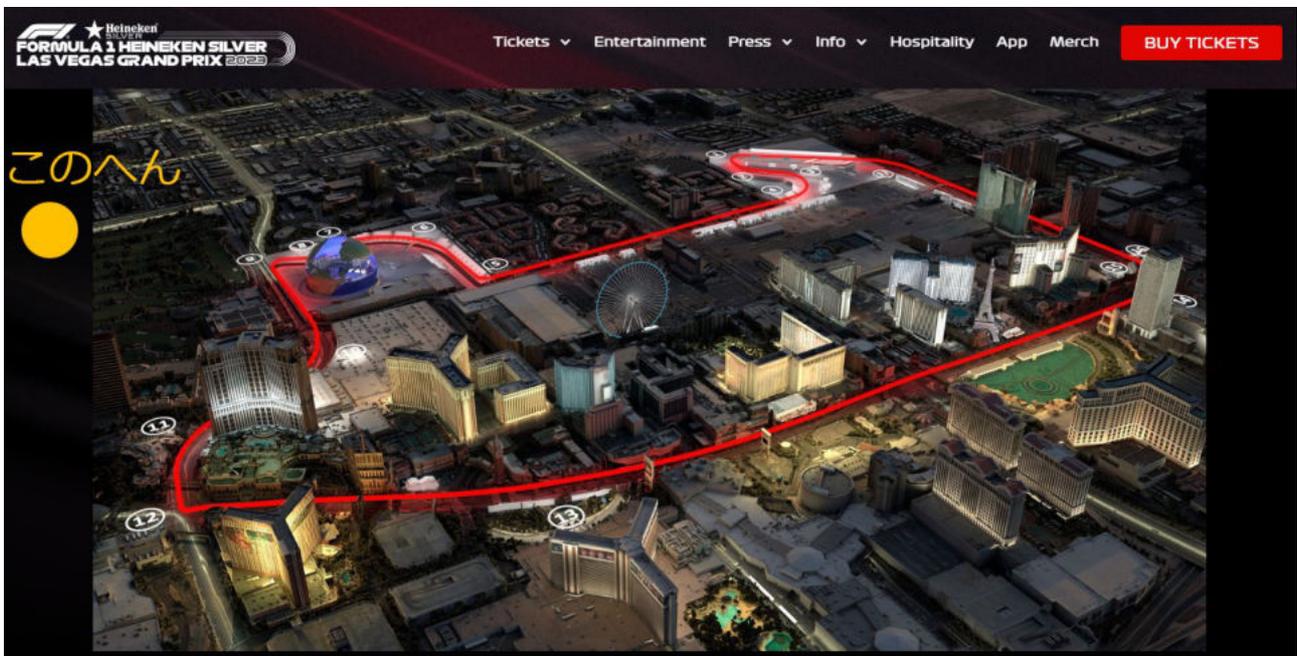
本書は2023年9月20日(水)～9月27日(水)に筆者がラスベガス観光に行った際の、いつものたのしい海外旅行記です。なお、本書中ではしばしば「マジック」と称されているものは、トレーディングカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」のことです。

Exclusive Black Lotus VIP Play Event - Sunday 1:00 PM	日曜 13時の Black Lotus VIP 用イベント（詳細不明）の参加権
Exclusive Signing Opportunities with Magic: The Gathering Notables	Magic 有名人のサインへの参加権
Exclusive access to Black Lotus VIP Lounge from 9:00 AM daily with breakfast	Black Lotus VIP 用ラウンジ（9時～終日）への全日利用権（朝食つき）

さらに8月末にスケジュールイベントの予定が発表されたので、参加予定イベントをぽちぽち。あとT-MobileのSIMをAmazonで買ったり、掛け捨ての医療つき旅行保険に加入したり。

あとは最新版の「るるぶ」観光ガイドを書店で購入したり、ネットで下調べをします。ちょうど自分の帰国後にオープンする球形ホール「スフィア」については外からあちこち見物し本書でもアレコレ書きましたが、11月にはF1が開かれるようで、ストリップなども含めた市内をF1が爆走するみたい。これは本当にスゴそうですが、何やら期間中のホテル代は1泊1000ドルとか、ただでさえ高い料金がさらに爆上りしているとか…。

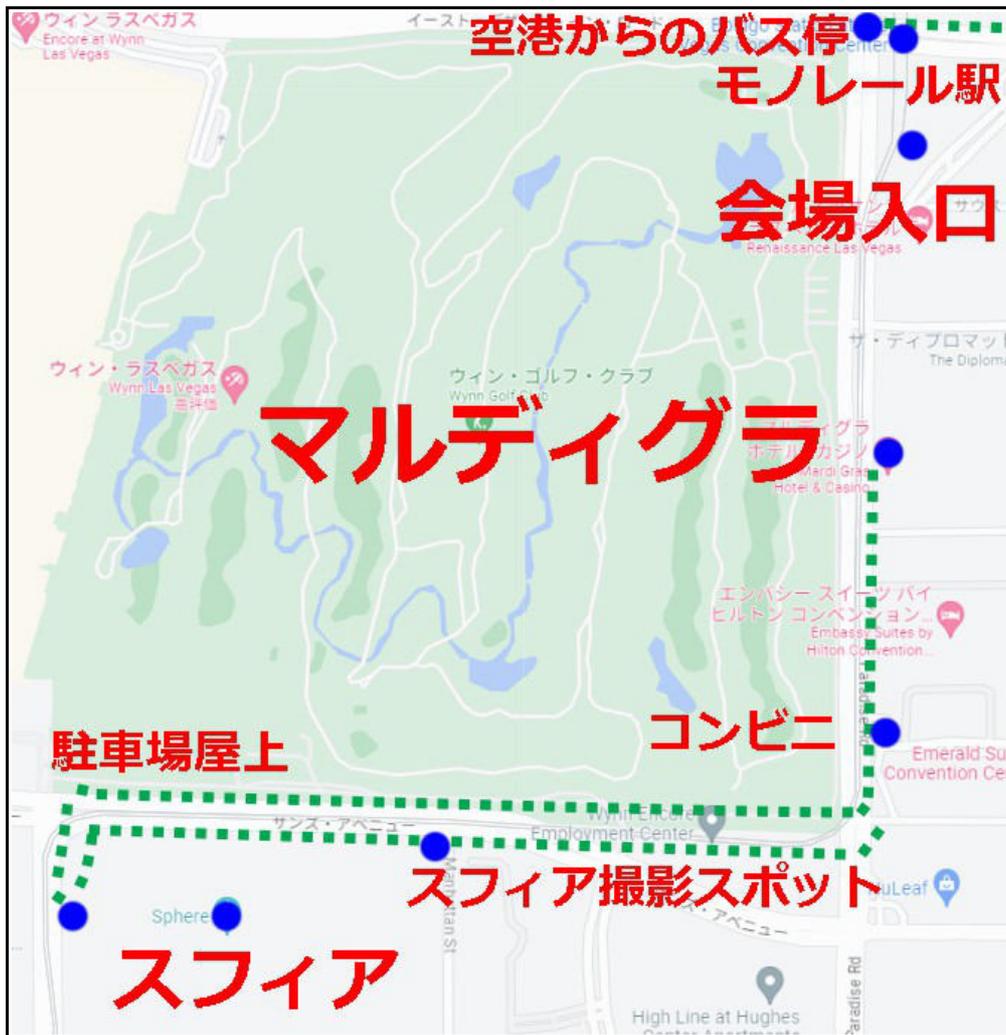
これはF1ラスベガス2023公式サイト画像から。こういうコースを走るらしい。このような「ワクワク」が常にあるから僕はラスベガスが大好きで、遊びに行くのです。



ちなみに「スフィア」はこのマップのコース左上にあるでかい半球です。スケール感がおかしい。なお僕が宿泊するマルディグラは、惜しくもこのマップに入らずスフィアのもう少し左上（笑）。

PART 1

ラスベガス入り



今回のホテル「マルディグラ」周辺。

空港からバス（108NB）を降りて南に300m歩くだけだったし、
今回の会場のLVCC South入り口には200mくらい歩くだけだったし、
スフィアも比較的近くて歩いて見渡せたとし（トータル1.5kmは無駄に歩いたけど）、
まあやはり安くて最高の宿でしたね

その 10 分後にはマルディグラに到着です。
予約済なので普通にチェックインを終え、
カードでデポジット 100 ドルを払ってから
3130 号室のカードキーを 2 枚受け取ります。



エレベーターで 3 階に上って、ただちに入室。
変わらぬ広くて上品な丁度の部屋です。
荷物を置いてベッドにごろり。

エアコンも強く、冷蔵庫もあり、シャワーはバス
タブがついておりお湯も出ます。清潔なベッドに
枕が 4 つとバスタオル 4 つ。

うん、なにも不自由はなさそうです。これからの
5 日間、ここに宿泊。

The Sphere (ザ・スフィア)

18 時 20 分。そろそろ日が暮れる頃ですが、まだ明るい。時差ボケというよりは睡眠時間が減茶
苦茶な状態で、さすがに体力が余っている昔でもないのこれからストリップまで遊びに行く
というプランはさっそく破棄したものの（一応は可能性を事前に考慮）、夕食を食べたらベッドで
明日の朝まで爆睡したいというほど疲れてもいません。

そこでいささかの思案ののち、やはり「ザ・スフィア」を近くで観ることにしました。

ザ・スフィア（正式名称は Sphere at the Venetian Resort）は、この 9 月 28 日にオープンする
ベネチアン・リゾートの巨大なコンサート・ホールなのですが、まずホール全体が高さ 111m の
巨大な半球で、広さが 14800 平米の 18000 人を収容可能なシロモノです。

<https://www.thespherevegas.com/shows>

PART 2

ラスベガス観光開始



この日はあちこち回りましたが、バスを駆使してかなり出費を抑えたというのがポイント。

RTCバス1日券8ドル、モノレール6ドル、タクシー折半10ドル

自撮りと言っても、別に自撮り棒を頑張って自分で操作する必要もなく、スタッフに声をかければ快くポーズを決めた自分を撮影して貰えます。見る限り自分の他は数組の友人同士やカップルしか見当たらないので、ヒマそうにしていた男性スタッフ1名を

自分専属のようにしながら、施設内を歩きつつ

「これはちょっとなあ」というもの以外はバシバシ写真を撮影しました。

基本的には俗っぽくてくだらないものばかりなので、本書でいちいち紹介には及びませんが（笑）。

飛行機のファーストクラスで金のシャンパンを飲んでる趣向の部屋、机の上に無造作に100ドル札が重ねてあったりして（マジで俗っぽいwww）、もちろん本物ではないでしょうけど、手に取ってみた限り、裏は白かったりFAKEを示す印刷があったわけでもなかったのてこっそり1枚抜いてきて後で本物と比較したいかなとも一瞬、思いましたが（もちろん、やりませんでした）。まあ期待通りのものが見られて、そこそこ満足しましたよ自撮り博物館。所用時間1時間。まあそんなもんでしょう。ここで2時間使うのはキツイと思う（笑）。



原爆博物館

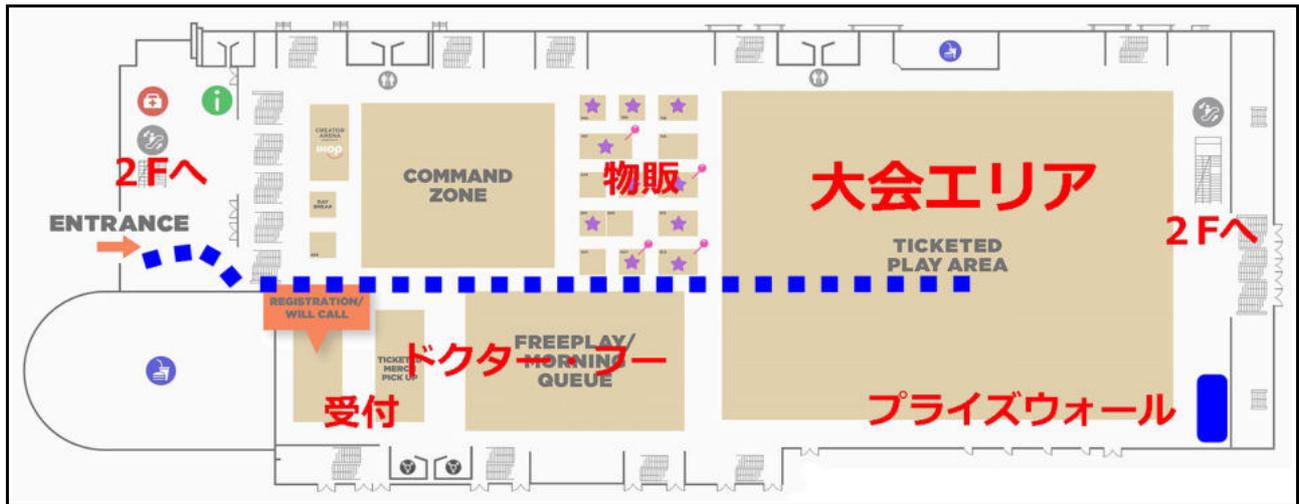


13時。それでは本日の第2チェックポイントである「原爆博物館」です。過去に何度も来ている自分の好きなスポットですが、今年は日本で公開しそうにない映画「オープンハイマー」のコラボでもやらないだろうかと期待しつつ。

LINQを出て徒歩でフラミンゴに南下し、道路を横断。途中でお菓子中心の土産物屋に立ち入ると「BLOW JOB」というミントキャンディー発見。「んまっ！お下品！」と思いつつも、6ドル…千円か。友人へのいやげもの土産ならOKだなと思いつつ何個か購入。

PART 3

MagicCon 1日目



会場の1階マップです（S1ホール全部を使用）。

LVCCの資料によるとS1ホールは224,994平方フィートとある
（縦横の数字は発見できませんでした）ので、仮に東西比率を上図を目視して

2.5:1とすれば東西750フィート、南北300フィート。

メートルに直すとホールの東西225m、南北90mでしょうか。

僕らに分かりやすい単位で言うと、東京ビッグサイトの東館ホールは1つが
だいたい90m×90mですので、ほぼ「大会エリアが東館1ホールぶん」
「S1ホール全体が東館2ホールぶん」ということになりますね（笑）。

入り口から往復するだけで500mくらいは歩くわけで、そりゃまあ疲れます。

Festival in a Box: Las Vegas 2023

そういえば Festival in a Box:
Las Vegas が買えるようなら、
大枚 250 ドルをはたいて自分の
ぶんだけ買うつもりだったんだけ
どなと思ったものの、会場売りは
なく予約受付のみであったので、
心底がっかりしつつ見送りですが、
公式物販に行ったら展示はされて
ました。「11月発売」なので、



いまは予約のみなのは道理ですけど、日本への発送だと円安なのはともかく送料がなあ…。

Dan Franzier の Mox フォイル 3 枚がメインで、鼠プロモ 1 枚（これはどうでもいい）に加え、
ミステリーブースター 1 箱、カオスドラフト用の 24 パック詰め合わせも含まれているから、まあ
こうなる。そもそもこのボックス自体がでかい。まあ、諦めるのが吉だろうなあ。

一応、本書の編集時点の 10 月ではまだ通販受付をやっているのですが、結局、USA とカナダ
では送料無料だけど、日本だと 83 ドル送料がかかる模様。総額 333 ドル、約 5 万円。
まあ円安なのを嘆いても仕方ないので、ドル 100 円の感覚であれば間違いなく「安い」ので、
USA に友人でもいればお願いしたい所ではありました。

もっとも仮に USA の友人がいても「このサイズのヤツを日本に遊びに来て貰うときに本人に
持ってきて貰うのか？」問題があるので、まあ日本で欲しい人は素直に +83 ドル支払いか。

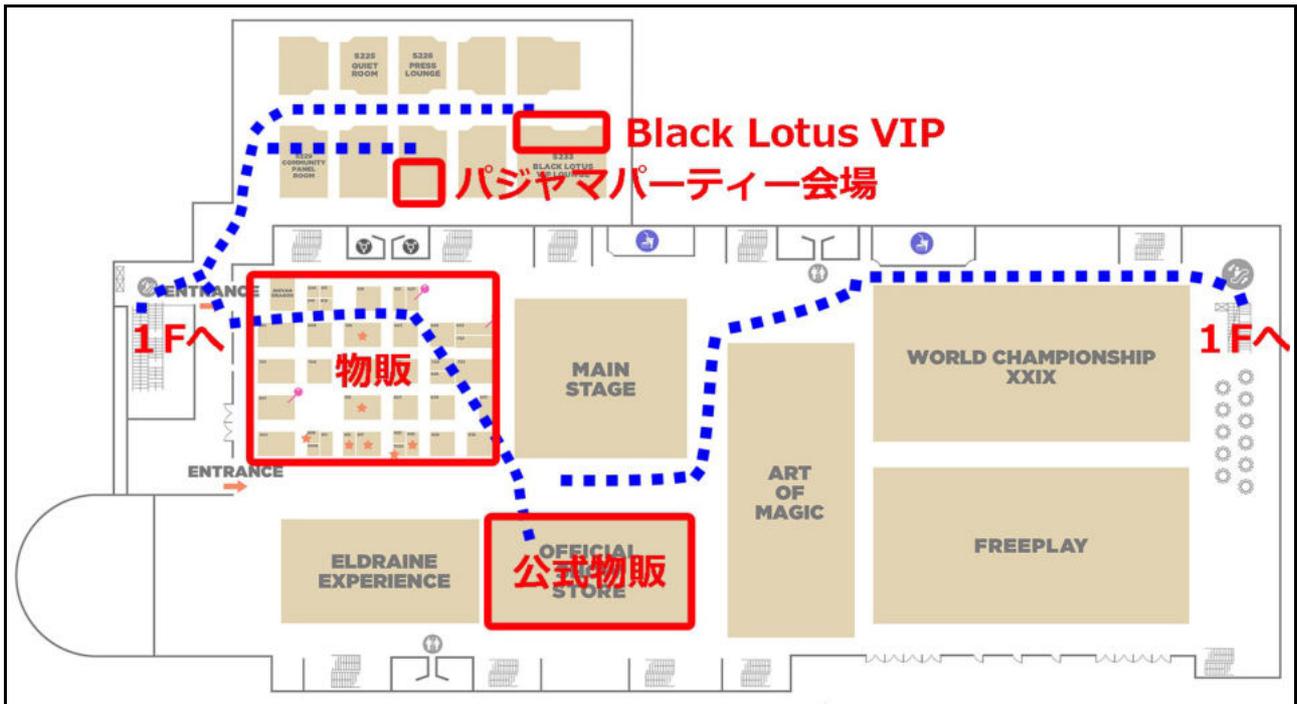
さらに 2 階のバイヤーブースをぶらぶら歩くと、日本で 9 月頭に開いて
いたマジック 30 周年のシヴァドラのプレイマットや、エンスカイ新作
レトロパックのスリーブを並べている店がありました。あるいは某店の
スタッフから 160 個を買い取ったのはココなのかな？（→P.9）

価格はシヴァドラのプレイマットが 150 ドル、スリーブは一律 50 ドル
でした。さすがに強気価格だなと思いましたが…。



PART 4

MagicCon 2日目



会場の2階マップです（S1ホール全部を使用）。

Black Lotus VIP ラウンジのある北側のゲストエリアのマップは、
通路が1本省略されていたり、それほど縮尺的に正確ではなかったことが判明（どうでもいいですが）。

2階はほぼ Black Lotus VIP ラウンジを利用するために行き、
ついでに物販をひやかしたりしたわけですが、
ゲストエリアの一番奥の Black Lotus VIP に行くだけで
一番近くのエスカレーターからも片道 100m ありますし、
2階を一回りすると 500m くらい歩きます。

MagicCon でなく World Championship（右上） 目的のプレイヤーにとっては
だいたいすべて 2階だけで済むのですが、MagicCon 参加プレイヤーは 1階と 2階を
頻繁に行き来する必要があるので、そりゃまあ疲れます（笑）

QJから「総合受付の前でドクター・フーのコラボキャンペーンをやっている、自分の写真を撮ってもらおうとプロモ貰えるよ」という情報が本人の写真とともに届きました。そういえばそういうのあったあった、と思いつつちょうどヒマなので参加。少し並んで自分の番になる。他のひともしようやっていたので、このおっさんの横に並んでパチリ。SFドラマの「ドクター・フー」は存在自体は知っていたけど履修はしてなかったので「このおっさん is 誰」と思ったんですが、まあ水を差すこともないし。右の2人はウイザーズのスタッフらしかったです。



あとで識者から「服装からすると、デイヴィッド・テナントの10代目ドクターですね」という指摘がありました。なおこのおっさん紳士はドクター・フーの役者ではなくドクター・フーの大ファンでもある Gavin Verhey (ウイザーズのえらいひと) でした。



撮影を終えたので TARDIS(って何ですかレベルですが)の特殊フォイルのプロモをゲット。記念品ゲット。

帰国後はまさんのラスベガス放送を聞いていたら、このプロモが eBay でピークは 90 ドルついたとかいうのを読んで「うわぁ」なお気持ちに。まあ確かに入手は困難かもしれないけど…もう何回か並ぶのだったか。

ラウンジで軽食

その足で Black Lotus VIP ラウンジへ。今日は 20 時からの全知ドラフトからパジャマパーティーであり、帰りは日付が変わる頃かもしれないので、ちゃんとした夕食は不要だけど、少しは腹に入れておきましょう。

PART 5

MagicCon 最終日



水曜日に置き忘れたタブレットの回収コース

LVCCのセキュリティ・センターは中央ホールの東奥にあり、

今回の会場は南ホールのS1でした。

だいたい点線で歩いた距離は片道で700mくらいでしょうか

(ちなみに2021年の会場は中央ホールのC3でした。C4も使っていたかも)

ただしこの時点ですでに 17 時だったので「もう追加パックもないし、終わりにして良いんじゃないだろうか」と思ったので対戦相手が来るなり「スプリットしません？」と持ちかけて、700 チケずつを分け合って終了。

実のところ、最終日のホール利用時間は 18 時までだったので、対戦中に「中止」はないだろうけど、もうこれ以上は続けてもチケ 100 がどうなるか以外の意味はなく。

ということで 3 回で合計 2100 チケを獲得。さっきの 3500 チケと合わせれば 5000 チケを越えたから、もしかしたらもうちょっとは良いものが取れたかなー、とも一瞬後悔するも、実のところ最終日の夕方は「チケットがあっても貰えるものがない」可能性も普通にあるわけで…。

最終プライズ交換

そしてプライズウォールに行ったら、案の定こんなことに。地平線まで続くデブの列。これがあったからスプリットを提案して急いだというのはあったんだけど、まあ遅い。

待つしかないなのでそのまま列に最後尾に並ぶ。

基本的にはこれを交換したらあとは会場を離脱するだけで、あとはアラジンさんの分のジンジャー T シャツ (→P.57) を買えるかなというくらいだったけど、物販は 18 時までということもないだろうから、慌てることもなかる。



列自体の進みは早い。まあ、たぶんもうパックくらいしか替えるものがないんだろうから考える余地もないのだろうなあ、とは思いつつ 20 分くらいで自分の番に。

…セットブースターやドラフトブースターも切れてた。うーん…いつものことなんだけどスタンダードのパックくらいはふんだんに準備しておいて欲しかったなあ。

2100 チケではプレイマットもないし、スリーブとかもなあと思えたものの、ジャンプスタートのブースターが 500 チケであったことから「これでいいや」と 4 パックを獲得。余った 100 チケでまたサイコロを 1 個。これでプライズ交換は終了しました。

PART 6

観光最終日



バスが1日券8ドル(2回利用)

モノレールが片道1回6ドル(2回利用)

空港までのタクシーが20ドル…やっぱ、モノレールのコスバがかなり悪いと思うな

ハーシーズ・チョコレート・ワールド

15時を回りました。さらにニューヨーク・ニューヨークまで南下しハーシーズ・チョコレート・ワールドへ。これまではラスベガス土産のチョコは（自分が日本でよく食べてもいる）M&Mで、M&Mラスベガスでの「刻印サービス」も土産ネタの自分の定番でしたが、それもマンネリだったので、今回は「ハーシーズ」にすることに。

ニューヨーク・ニューヨークらしくチョコレートで造ったような「自由の女神」がお出迎え。ちなみにココは1階と2階をぶち抜いているんですが、黒と茶色のチョコレート色のヤツがそれぞれありました。良いバラマキ土産はないかと思ったものの、どうもハーシーズのキャラクターは**かわいくない**ので愛着も持てずスルー。まあM&Mのアレも大概ですが。



「ハリー・ポッター」パッケージのヤツがあったので誰か好きな人がいないかな…と思いつつ、1枚購入。

あと日本ではあまり見ない「味違い」が一杯あったので、自宅土産の消化用に1枚ずつ。

実はいずれも1枚3ドルなので「1枚500円か…」というお値打ちがよぎるも、考えたら負けなので考えない。

まあ、こんなもんでしょ。

ラスベガスのあちこちに今もある「1ペニー銅貨を自分で加工し記念メダルを作ろう」という機械。こういうの僕は嫌いじゃないんで過去何度も遊んでますが、ハーシーズにも。

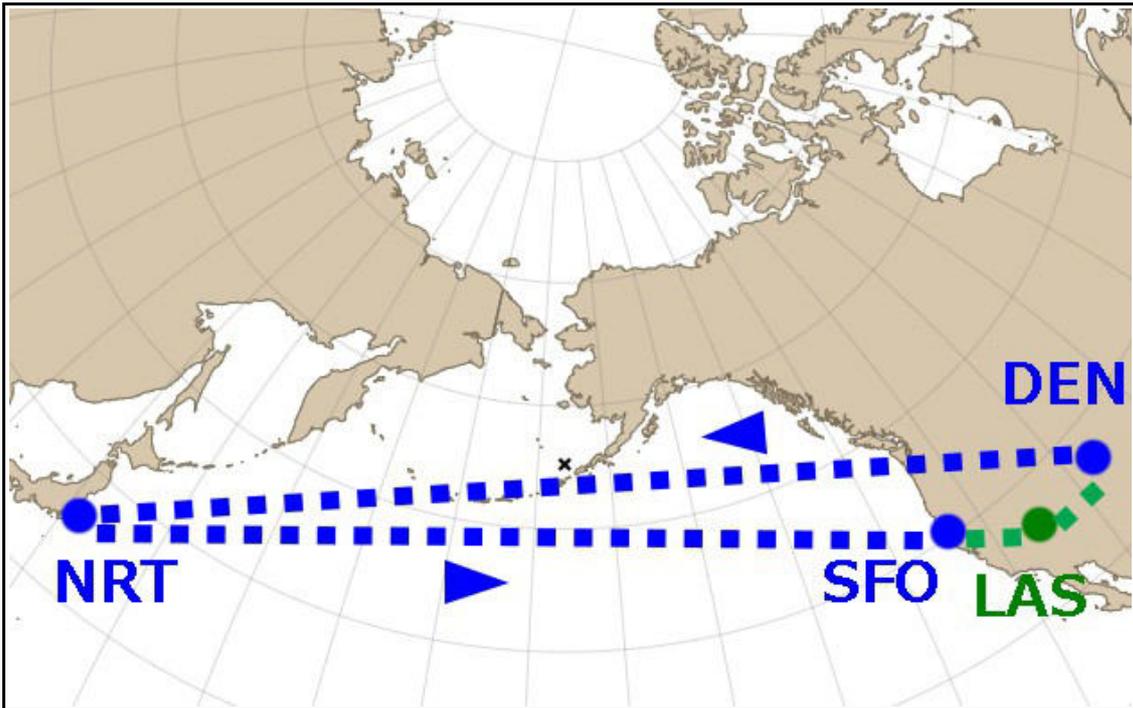
これには「1ペニー銅貨を持ってない？OK、こっちで用意したから入れなくていいよ！」とあります。確かに最近はコンビニ釣銭でも



1ペニーとかいちいち渡されないことも多いので合理的なんですが、この**本末転倒感**。

PART 7

帰国



今回のフライトマップ（正距方位図法）。

行きは成田（NRT）からサンフランシスコ(SFO)を經由してラスベガス（LAS）
帰りはラスベガス（LAS）からデンバー（DEN）を經由して成田（NRT）

デンバーはラスベガスから東に2時間飛び、ラスベガスとの時差も1時間あるのですが、

地球は丸いのでメルカトル図法で想像するほどの違いはありません。

実際には行きの成田-サンフランシスコは10時間、
帰りのデンバー-成田は11時間かかっているんですが、

この程度は偏西風もあるし、

当日の天候や気流による誤差が普通に1時間くらいは出る話ではあります

ゲート前の朝食

4時半。あとはD55ゲートへ移動して、1時間後に乗るだけです。さよならラスベガス。次は何年後かな？ そのときドルはいくらになっているのかな？

空腹になったので朝食にします。選択の余地もないので開いている軽食店でホットサンドとペットボトルという簡単なものを食べる。まあ暖かいパンと肉を口に入れると元気が出る。

これだけで16.23ドル。値段を考えなければOK。ていうかペットボトル1本で6ドル…。



カジノのやりおさめ



あと20分くらいでユナイテッド2643に搭乗開始です。

それでは最後にラスベガス名物「空港のカジノ」を遊んで終わりにすることにしましょう。

このために昨日のOYOカジノでは、**勝ちを10ドルだけ残しておいた**のだ(→P.77)ということで10ドル札を機械に突っ込んでスロットを回します。

まあ一応、これでも大当たりなら500万ドルですが。

…何回か揃ったものの、当然ながらそのまま終了。もう回せない50セントだけ残ったのでバウチャーを発行して終了。換金しても仕方ないので、そのまま持ち帰ることにします。

これで今回のラスベガスの「カジノ」は終了です。



風使いのKARASU